

9/9(金)

【クロージング】

司会：高橋清久（財団法人精神・神経科学振興財団）
大島巖（日本社会事業大学/ NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）

クロージングのセッションでは、伊藤順一郎、宇田川健、大島巖が壇上にあがり、まず、バラバラに座っていたクロージングに参加された全員の方を、前半分にまとまって座っていただき、壇上から質問を投げかけました。参加が何回目かを聞いたり、全体会の満足度を聞いたり、分科会の満足度を質問し会場の皆さんに挙手で答えていただきました。

それから、5人から10人くらいの小グループに分かれていただいて、輪になり、今回のリカバリーフォーラムについて、またどんな分科会に出たかについて、それぞれのグループで分かち合いをしてもらいました。そんな中で、もっといろいろな分科会に出たかったとか、勉強ばかりになってしまって、自分の意見が出せなかったとか、当事者、家族、専門職、その他もろもろの人が、交わり、話し合いをしました。来年はもっと、こんなふうになっていればいいという意見をたくさんもらいました。

一通り意見が出たところで、宇田川から「来年もリカバリーフォーラムに参加したいですか」という質問をしたところ、ほとんどの人の手が挙がりました。最後に、コンボ職員丹羽の集合写真を撮るというかけ声で、写ってもいいという人全員がステージ前に集まりました。そして全員で、合い言葉「リカバリー」と叫び、こぶしを高く振り上げて、写真を撮りました。そして、これでリカバリーフォーラムはすべて終了し、解散となりました。

多くの人を知り合い、ふれあって、知識を共有し、意見を言い合えたクロージングでした。

《宇田川健（NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）》